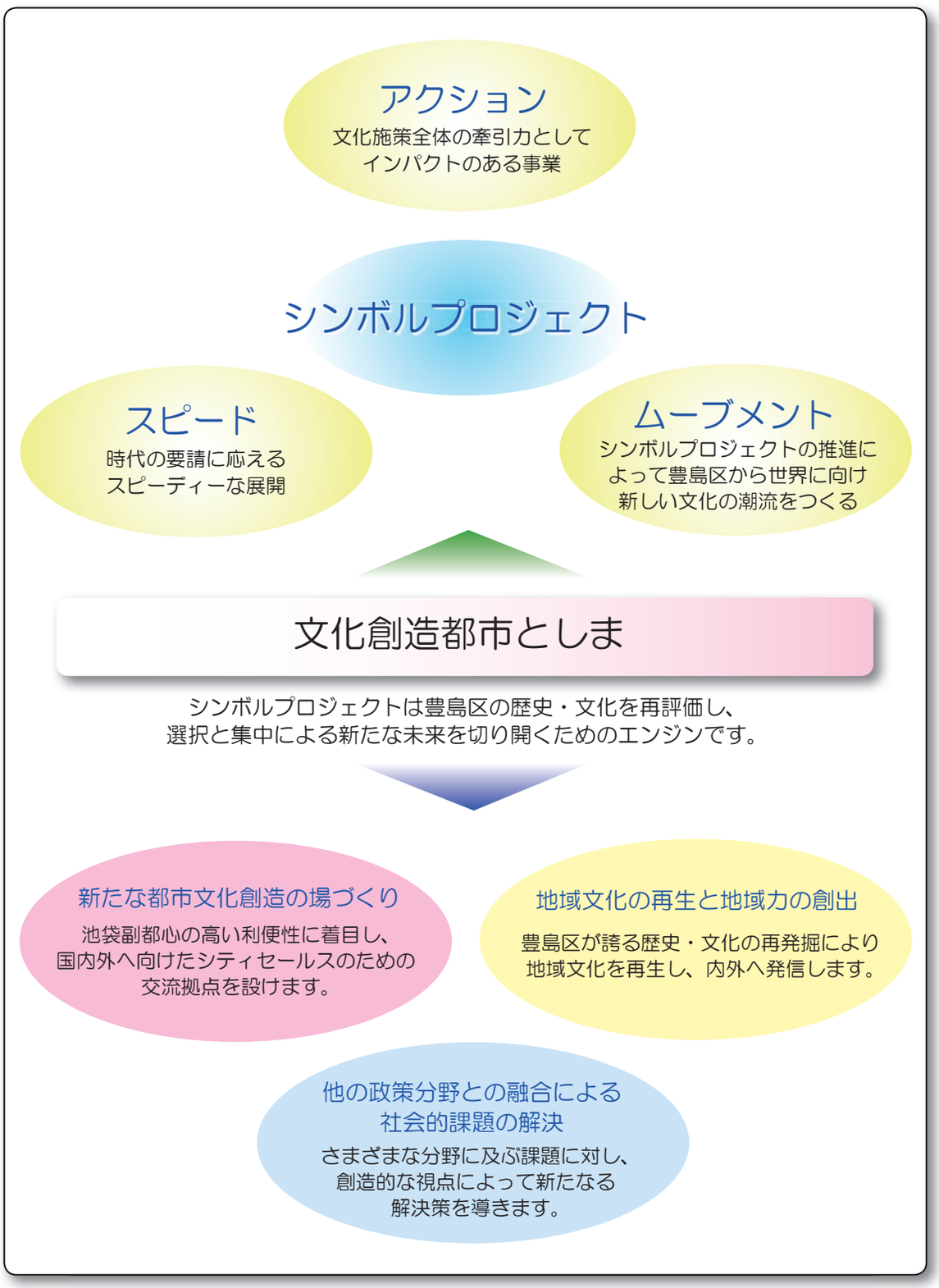
第７章　シンボルプロジェクト

１　基本方針



２　３つのシンボルプロジェクト

プロジェクト１：新たな創造の場づくり ■都市文化の創造に向けて、池袋副都心の高い利便性に着目した新たな創造の拠点をめざします。	目標１　質の高い芸術文化創造環境の整備 目標２　地域文化・伝統文化の継承と発展 目標３　文化を支え、発展させる人材の育成 目標４　まちづくり等との連携による文化政策の推進 目標５　福祉と教育における文化活動の展開 目標６　文化資源を活かした地域産業の活性化

（1）目　的

文化芸術を担う区民、アーティスト、NPO、学生など内外の多様な人々が集い、さまざまな文化イベントを企画開催します。文化発信拠点機能を整備することにより、池袋副都心の文化的魅力を高めます。

（2）事業概要

■池袋アートステーション（仮称）

〇機能イメージ

既存施設を有効に活用し、豊島区の文化やアクティビティを知ることができるサロン的空間とします。そこでは、美術、音楽、伝統芸能、映画や演劇、ダンス、大道芸等、多様なジャンルを紹介し、大小さまざまなイベントを頻繁に開催します。

〇事業展開

イベントは ①主催（企画）事業と ②レンタル（コーディネート）事業とし、特に、主催事業では、国内外のさまざまな地域から来る、多様なイベントの本公演前のプレ公演や企画発表などを積極的に誘致するなど、この場所が常に旬で最先端の文化イベント情報発信基地となるよう企画・展開します。また、レンタル事業は、豊島区を活動拠点としている団体を中心に、発表の場の提供や支援を行います。

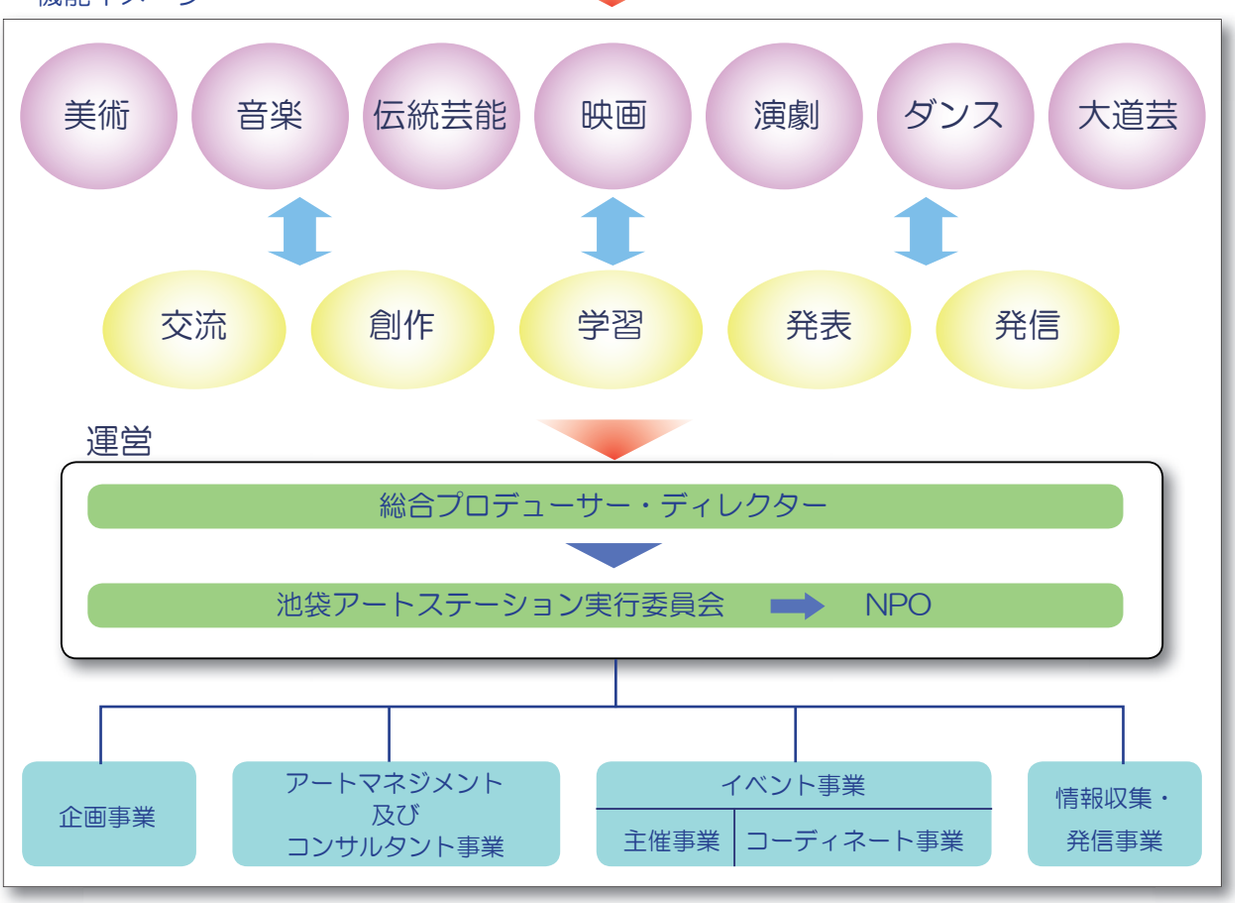
〇場所と運営

池袋駅直近にこれらの機能を持たせることで、日本屈指の 263 万人の乗降客など、池袋を通過する人々や、内外への訴求力と発信力を高めます。また、広さよりも、プログラムに応じたフレキシビリティを重視し、多様性、流動性、機動性を備えます。

運営は、これらの事業を総合的に展開できるディレクターや事業者を選定し、躍動的な文化発信拠点を目指します。

活用イメージ

機能イメージ


美術
音楽
伝統芸能
映画
演劇
ダンス
大道芸
交流
創作
学習
発表
発信
運営
総合プロデューサー・ディレクター
池袋アートステーション実行委員会
NPO
企画事業
アートマネジメント
及び
コンサルタント事業
イベント事業
主催事業
コーディネート事業
情報収集・
発信事業

プロジェクト２：地域力の創出 ■地域文化の再生に向け、歴史・文化の再発掘により地域の創造の拠点をめざします。	目標１　質の高い芸術文化創造環境の整備
	目標２　地域文化・伝統文化の継承と発展
	目標３　文化を支え、発展させる人材の育成
	目標４　まちづくり等との連携による文化政策の推進
	目標５　福祉と教育における文化活動の展開
	目標６　文化資源を活かした地域産業の活性化

（1）目　的

地域活性化に向け、地域の魅力を高め、住みたいまち・訪れたいまちをめざします。各地域において、それぞれが持つ歴史的・文化的資源を活かした個性あるまちづくりを展開し、 区民の参加と協働を広げながら事業展開を図ります。そのなかで地域や時代の要請に応えるスピード感を持ったアクションプランを推進していきます。

（2）事業概要

○地域に根ざした文化の香り漂うまちづくり

現在区内のさまざまな地域で、活性化に向けた事業が展開されています。

大塚・巣鴨・駒込駅を中心に広がる東部地域では、にしすがも創造舎の支援や駒込染井の桜アクションプラン、川越街道以北の北部地域では回遊ネットワークの形成、池袋駅を中心とする中央地域ではあうるすぽっと区民シリーズや新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館、目白駅を中心とする南部地域では目白の地域ブランド支援や雑司が谷・歴史と文化のまちづくり、山手通り西側の西部地域では旧長崎町の地域ブランド創出支援や、トキワ荘･並木ハウス関連事業など、地域の特性を活かした、文化の香り漂うまちづくりを推進していきます。

○雑司が谷・歴史と文化のまちづくり

雑司が谷界隈は、池袋副都心に隣接するにもかかわらず緑豊かで、江戸情緒と昭和レトロの雰囲気を残す、歴史と文化の迷宮のような街です。

平成 21 年にはまちづくりを考える懇談会を設置し、鬼子母神と法明寺を核として、歴史を中心に文化との融合によるまちづくりを進めています。ケヤキ並木参道の景観保全や、情報発信スペースの設置、回遊ルートや案内サインの整備、ボランティアの育成、そして四季を演出するイベントの展開など、地域の人々との連携のもとに事業を展開していきます。

○トキワ荘通り・協働プロジェクト

手塚治虫をはじめ、世界に誇るマンガ文化を育んだトキワ荘を中心に、マンガを地域再生のシンボルとして位置づけ、プロジェクトを展開します。

南長崎花咲公園内に設置した記念碑「トキワ荘のヒーローたち」をスタートとして、企画展や地域と協働したイベントの開催､来街者の回遊を促す案内システム等の整備やトキワ荘資料館(仮称）の設置、旧長崎町地区における地域ブランドとの融合、さらには（仮称）西部地域複合施設との連携など、段階的に事業を展開していきます。

プロジェクト３：文化による社会的課題の解決 ■さまざまな分野に及ぶ課題に対し、創造的な視点によって、新たなる解決策を導きます。	目標１　質の高い芸術文化創造環境の整備 目標２　地域文化・伝統文化の継承と発展 目標３　文化を支え、発展させる人材の育成 目標４　まちづくり等との連携による文化政策の推進 目標５　福祉と教育における文化活動の展開 目標６　文化資源を活かした地域産業の活性化

（1）目　的

文化芸術活動から生まれる創造的な視点を、他の政策分野へ拡大することにより、区のさまざまな社会的課題に対する新たな解決策の検討を推進していきます。そのポイントとなるのは現代社会において急務を要すると考えられる福祉・環境・防災の３つにかかわる政策です。

（2）事業概要

○福祉（文化芸術によるソーシャルインクルージョンの実現）

高齢者、介護者、障害者、子ども、子育て中の母親等を対象に、日常の生活のなかで気軽に文化芸術にふれあい、参加し、体験できる機会を提供し、自己実現の可能性を広げます。

また、それらの体験を共有することで、人々の絆を築き、コミュニティへの意識や関心を高めていきます。

病院、学校、高齢者施設などの要望に基づいてアーティストが出張し、制作、実演、ワークショップを行うことにより、全ての人々が創造力を発揮し、多様な問題に主体的に関わることを可能にするソーシャルインクルージョン（社会的包摂）の実現をめざします。

○環境（環境に配慮した社会形成への啓発と誘導）

近年関心が高まっている地球温暖化をはじめとする世界的な環境問題は、区民にとっても重要な問題です。その解決には、区民一人ひとりが身近なところから環境に対する意識を持つことが重要です。

そのため、子どもたちを対象とした体験型環境教育や植樹祭、ごみを利用したアート作品の制作・展示など、豊かな生活を支える環境を考える機会を提供します。これにより、個々のリデュース・リユース・リサイクルや CO2 削減などへの取り組みの展開とともに、実際の体験を通して主体的に環境配慮活動を実践していくための基礎を育むことが期待されます。

○防災（クリエイティブ防災ターミナル）

首都圏直下型の地震などを想定し、一人ひとりが常にその危険性を意識し、非常時の行動を理解しておくことが必要です。特に池袋駅周辺地域は大地震が発生した場合、滞留者が 17 万人弱、帰宅困難者が９万人以上と予想されており、災害対策をテーマにした文化芸活動により、区民や多くの来街者に広く啓発を行っていくことが重要です。

災害をテーマにした作品展やワークショップなどを通して人々の災害への意識を高めていくことが必要です。ターミナル駅周辺においては、二次災害を防ぐための耐震対策や古い建物の新耐震建築への建替えの促進を図ることは特に重要であり、アートを活用した、防災とまちづくりが一体となった政策展開をめざします。